

第6次川西市総合計画 基本構想骨子案

目次

- 第1章 「川西市総合計画」について _____ 1
 - 1 総合計画とは？
 - 2 なぜ必要？
 - 3 総合計画の構成
 - 4 総合計画の期間
- 第2章 基本構想の構成 _____ 2
 - 1 まちの未来像
 - 2 私たちが大切にしたい思い（4つの基本姿勢）
 - 3 未来像の実現に向けて川西を動かす、分野別の目標
- その他 _____ 4
 - ・総合計画策定のプロセスとスケジュール

※本資料掲載の表記や掲載順について、今後実施する取組みなどを経て変更する場合があります。

第1章 「川西市総合計画」について

1 総合計画とは？

将来における川西市のありたい姿と進むべき方向性についての基本的な指針であり、川西市のまちづくりの基本となる最上位の計画です。

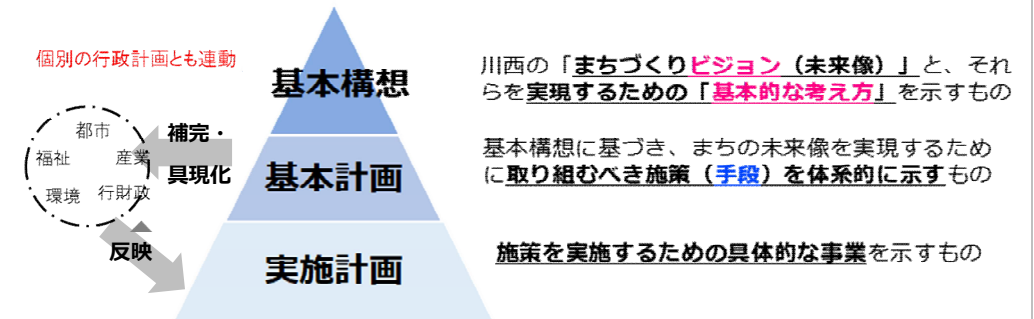
2 なぜ必要？

川西市のまちづくりを総合的・計画的に進めるために必要です。また、ありたいまちの姿（未来像）と、未来像の実現に向けた目標を市民と共有し、一緒にまちづくりに取り組もうえでも大切な指針となります。

3 総合計画の構成

総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成され、「基本構想」でまちづくりのビジョンと大きな方向性を、「基本計画」「実施計画」では基本構想の実現に向けた取組みの内容を示しています。

- 基本構想 川西のまちづくりビジョン（未来像）と、それを実現するための基本的な考え方を示すもの
- 基本計画 基本構想に基づき、まちの未来像を実現するために取り組む施策を体系的に示すもの。また、施策のなかでも重点的に推進していく「重点プロジェクト（仮称）」を設定する（＝総合戦略）。
- 実施計画 施策を実施するための具体的な事業を定めるもの



4 総合計画の期間

現在、本市では令和6年4月から始まる「第6次総合計画」の策定を進めています。

まちづくりを長期的な視点で計画的に進めるため、「基本構想」「基本計画」の期間を8年間としています（ただし、計画期間中に社会情勢が大きく変化した場合は見直しを検討します）。

「実施計画」は施策を実施するための具体的な年次計画となるため、毎年見

第6次川西市総合計画 基本構想骨子案

直しをおこないます。

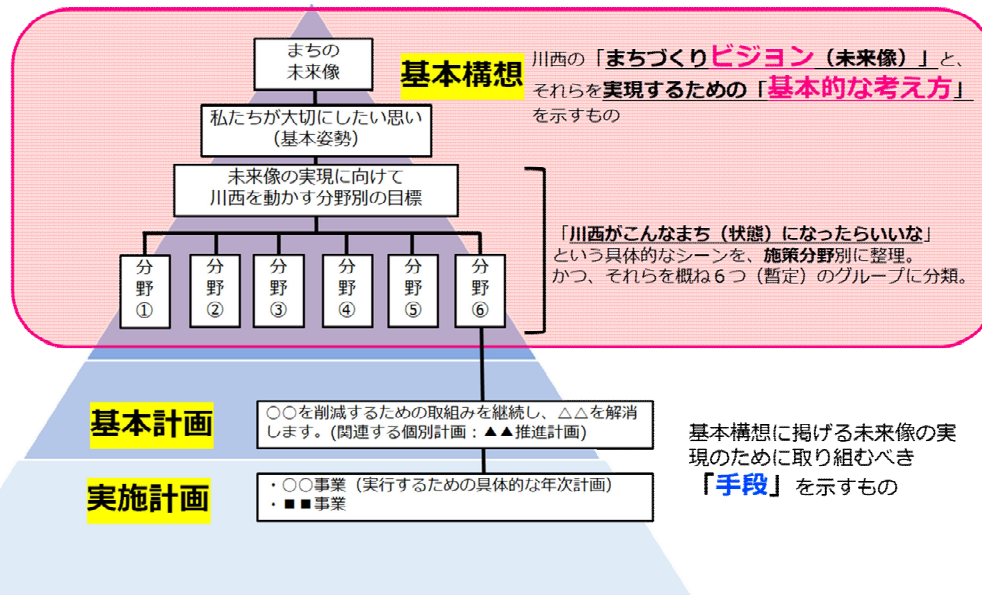


※計画期間中に社会情勢が大きく変化した場合は、見直しを検討します。

第2章 基本構想の構成

1 まちのめざす姿と方向性

●補足 基本構想の体系図



まちの未来像

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 【未定】 ※令和5年5月頃反映予定

川西の「ありたいまちの姿」を示します。

※未来像を構成するキーワードは、令和4年6月に実施した「市長と語る かわにし Meeting」や令和5年1月実施予定の「かわにしミライ会議」など、市民が関わる取組みなどから作成する予定です。

私たちが大切にしたい思い（4つの基本姿勢）

未来像の実現に向けて、私たちが何を大切にしようとしているか。その思いを示すものです。また、これらを年齢や立場に関係なく、川西に関わるあらゆる人と共有しようとするものです。

- (1)まず、子どもが幸せになります。
- (2)人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。
- (3)未来に責任を持ち、持続可能なまちをめざします。
- (4)日々の暮らして感じられる幸せを大切にします。

- (1)まず、子どもが幸せになります。

子どもたちの笑顔は、世代を超えたにぎわいや活力を地域にもたらします。笑顔あふれる子どもの成長を通じて、あらゆる市民が幸せを感じられるまちをめざします。

- (2)人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。

誰もが、地域の一員として誰かを支えたり、フォローできる役割を少しずつ持っています。各々のペースでまちに関わりながら互いを尊重し、多様な個性を認め合えるまちをめざします。

第6次川西市総合計画 基本構想骨子案

(3)未来に責任を持ち、持続可能なまちをめざします。

私たちは、このまちを未来の子どもたちにしっかりと引き継ぐ責任があります。そのために、人口減少社会や自然災害等を見据え、既存のまちのあり方を柔軟に見直していきます。

(4)日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。

1人ひとりに安らげる居場所や充実した時間があることで、このまちで過ごす時間がかけがえのない思い出になっていきます。「やってみたい」ことに自らチャレンジでき、それを応援しあえるあたたかいまちをめざします。

未来像の実現に向けて川西を動かす、分野別の目標

総合計画は、本市の個別の行政計画の上位計画です。そのため、総合計画で示す「まちづくり」は、ソフト面（子育て、健康、福祉など）及びハード面（公園、道路の整備など）の様々な分野を包括しています。

ここでは、「まちの未来像」の実現に向けた取組みの方向性をイメージしやすいよう、以下に掲げる「分野別の目標」を設置し、各目標像を達成するために望まれる日常シーンの具体例を整理しています。

- ①未来を拓く子どもや若者が豊かに育つまちの実現
- ②にぎわいと活力があふれ、ひと・まち・さとの魅力が磨かれていくまちの実現
- ③もしもの備えと日々のつながりが、安全や安心をはぐくむまちの実現
- ④自分らしさが尊重され、誰もがいきいきと輝けるまちの実現
- ⑤都市基盤と自然が調和し、快適に過ごせるまちの実現
- ⑥変革の歩みを止めないまちの実現

※分類の数や目標像の名称は変更する場合があります。

例

③もしもの備えと日々のつながりが、安全や安心をはぐくむまちの実現	分野別の目標
防犯／防災／生活安全／医療／福祉／地域コミュニティ	施策分野
<ul style="list-style-type: none"> ○市民自らが、自身の心と体の健康に関心を持ち、健康増進に取り組んでいる。 ○医療・福祉を必要とするときに、適切な助言・サポートを受けながら安心して利用できる。 ○防災訓練や高齢者の見守りなど、自分や周りの命を守る取組みに可能な範囲で携わっている。 ○..... 	

これからの日常で達成が望まれる「状態」の具体例
→市民が参加する取組みや住民アンケートなどをもとに作成予定

第6次川西市総合計画 基本構想骨子案

その他 総合計画の策定プロセスとスケジュール

策定プロセス

策定過程

- **みんなでつくる計画とする**
策定過程から多くの市民が関わる機会を設け、ともにつくる計画とします。
- **わかりやすい計画とする**
みんなでまちづくりを進めるため、本市がめざす未来像や大切にしている考え方を市民・市民公益活動団体・事業者・行政が共有できるよう、シンプルでわかりやすい計画とします。
- **重点事項や優先順位が明確で、戦略性を持った計画とする**
限られた財源を必要な事業へ有効に配分するため、計画の策定段階から何に重点的に取り組むのかを明確にし、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねた計画とします。
- **個別計画と連動した計画とする**
総合計画は、全ての行政計画の上位計画とします。各個別計画の役割を明確にし、効果的なマネジメントサイクルを構築します。
- **SDGs(持続可能な開発目標)の推進**
「誰一人取り残さない」社会の実現を目指した令和12年(2030)年を期限とする国際目標の達成に寄与するため、SDGsの理念や目標を踏まえたまちづくりを進めます。

第6次総合計画

役割

まちの未来像を共有する

総合計画は市民・事業者・行政がめざす「未来の川西」を示す指針です。

大切にしている考え方を共有する

総合計画は市民・事業者・行政が大切にしている考え方を共有するものです。

行政の理念を示す

総合計画はめざす未来像を実現するために行政が大切にしている考え方を示したものです。

策定後

- **みんなで達成をめざす計画とする**
総合計画は、行政が実施する事業を記載した計画ではなく、市民・市民公益活動団体・事業者・行政が、未来像の実現に向け自主的かつ主体的に行動するための指針となるものです。また、計画を進めるなかで生まれた市民活動、市の事業、市民生活の変化等について共有できるようにします。
- **成長する計画とする**
社会情勢の変化、市民の価値観の多様化など、市を取り巻く状況は常に変化しています。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大は市民の生活に大きな影響を与え、これまでの常識を大きく変えるきっかけとなりました。アフターコロナの時代においても、市民の幸せを大切にしながらまちづくりを進めるため、実行段階においても、必要に応じてみんなで作り直せるようにします。
- **成果による適切な進行管理を行う計画とする**
市民が計画の進捗を定期的に確認できる環境を整えます。また、市事業の実施にあたっては適切な進行管理により、効果的かつ効率的な事業展開を図ることができる計画とします。
- **効率的で効果的な行財政運営をすすめる**
持続可能なまちづくりを進めるため、効率的で効果的な行財政運営をおこないます。

未来像の実現

第6次川西市総合計画 基本構想骨子案

策定スケジュール (R4.12.23時点)

